

きょうのテーマ

おりはらアドバイザーの

学ぼう防災

26

待ちに待った夏休み、いかがお過ごしでしょうか。キャンプや海水浴など、夏のレジャーをいっぱい楽しんでほしいと思います。それでも長い夏休み。家で過ごす時間も増えますよね。そこで、おうちの防災を考えてみましょう。挑戦してほしいのが「わが家の地震防災マップ」作りです。

役立つ場所と、がけやブルック塀などの危険な場所をマークするのが一般的です。

ところで、自分の家の中で、災害の時に役立つ物、危険な場所を皆さんは知っていますか？ 外より先に身の回りから。「わが家の地震防災マップ」を作って確認してみましょう。

家のレイアウトを描く

まずは、部屋のレイアウトを描きます。リビング、キッチン、寝室、廊下、風呂やトイレも忘れずに。全部描いたら、部屋にたんすや食器棚などの家具、テレビや冷蔵庫などの電化製品を入れていきます。エアコンや時計、鏡など、壁にくっついていてる物も描くのがポイントです。

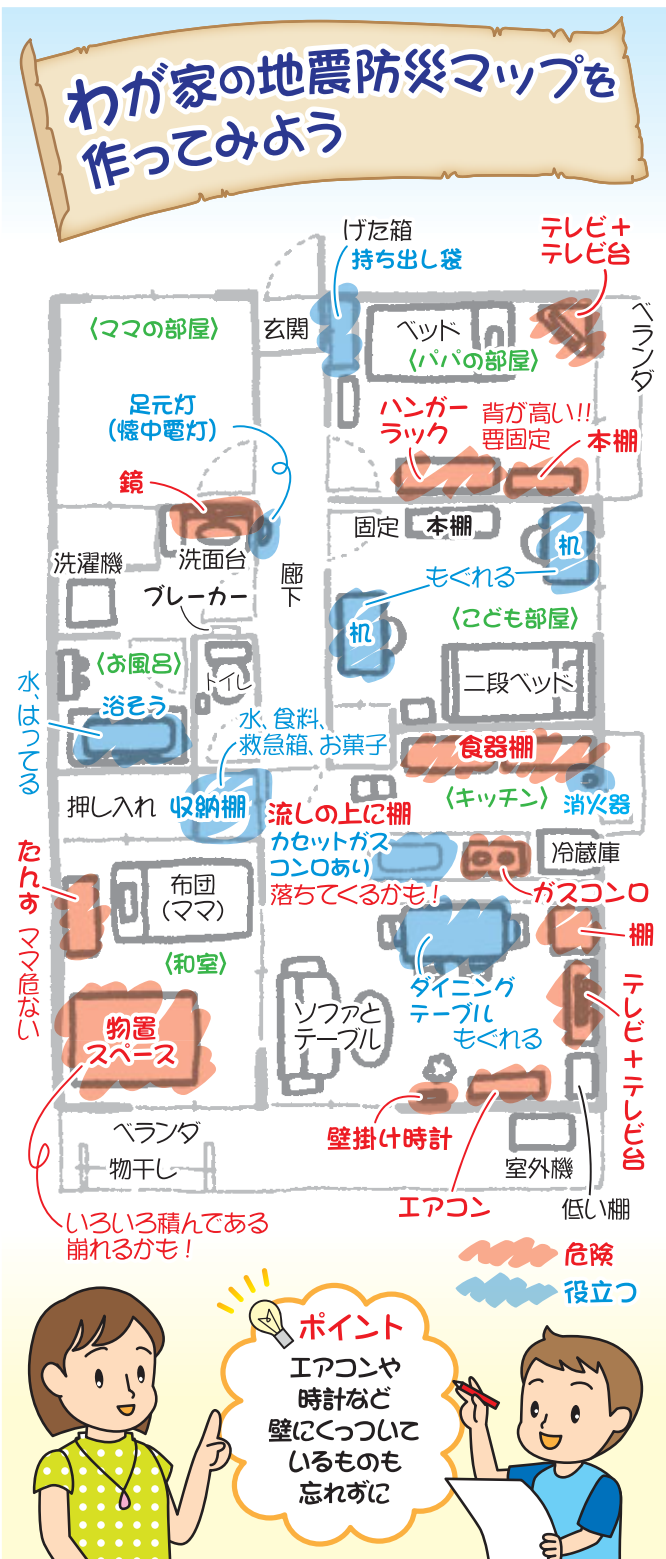
次に、家の中にある災害の時に役立ちそうな物を探して描きます。非常持ち出し袋はありますか？ 備蓄している食べ物？ 懐中電灯や消火器が置いてある場所もチェック。家具を器具で固定していたら、それも描いておきましょう。

ここまで来たらクライマックス。防災マップは災害時に役立つ場所、危険な場所を知るための物です。役立つ所に青、危険と思う所は赤で色分けしたら完成です。

地震の時に潜って身を守れるテーブルは青、固定していない背の高い家具は赤ですね。風呂の水は役立つかも。キッチンのコンロはどっちかな？ 真っ赤なお部屋があったらそこは：対策した方がいいかもしれません。

2面	ニコ☆プチ
3面	3分チャレンジ
4・5面	わが校わがまち スクール通信
6面	聞いて学べる こども英語
7面	投稿特集
8面	子育て・教育相談コーナー

備蓄や危険な場所知ろう



みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇25日(月) かき氷の日
かき氷の別名「夏氷(なつごおり)」の語呂合わせで、日本かき氷協会が制定したよ。1933年のこの日、山形市で当時の日本で過去最高の気温40.8度が記録されたことにも由来しているんだって。